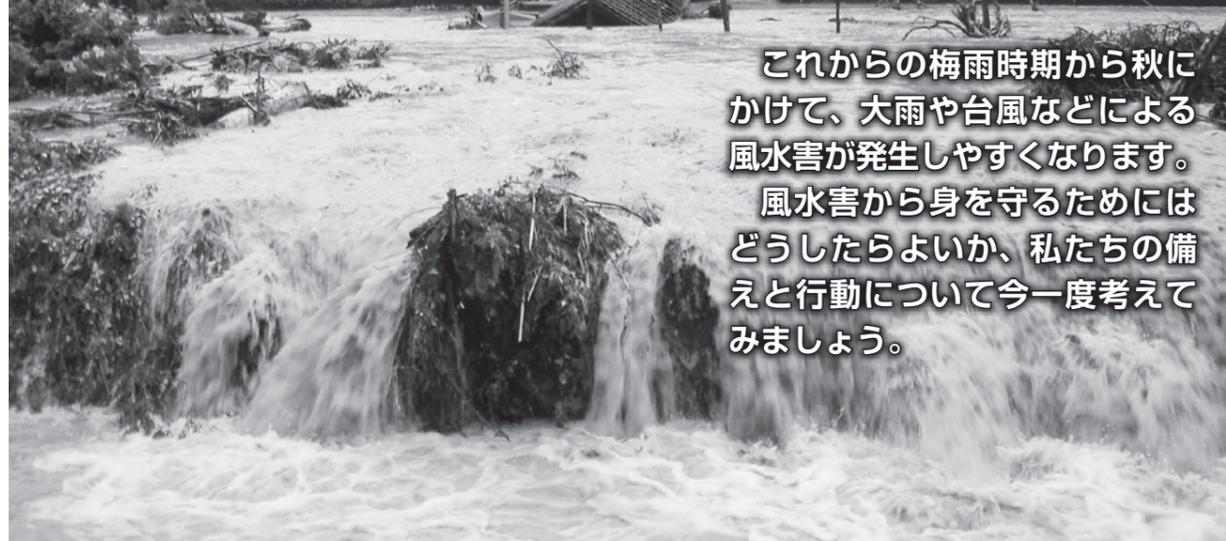


# 風水害から身を守る



これからの梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風などによる風水害が発生しやすくなります。風水害から身を守るためにはどうしたらよいか、私たちの備えと行動について今一度考えてみましょう。

## 日々の備えを十分に！

### 家の周りや地域の危険箇所を確認する

大雨が降ったり、台風が接近したりしたとき、皆さんの家や地域は安全ですか。皆さんが住んでいる地域で過去に洪水や浸水、山崩れ、がけ崩れなどの災害が発生したことがあるか、また、どのような危険があるかを調べておくことが大切です。家の周りや地域を見回して、危険箇所がないか確認しておきましょう。自分の住む地域が「急傾斜地崩壊危険箇所」「土石流危険渓流」「地すべり危険箇所」などの危険区域に指定されているかどうかは、天草市防災マップに掲載されているほか、本庁（別館）・河川港湾課または牛深支所・建設課、その他の支所・産業建設課、県天草地域振興局工務第二課で確認することができます。また、自宅の窓や屋根、雨どいや側溝、壁などを点検し、壊れているところがあったら早めに修理しておきましょう。

### 避難場所や避難方法の確認を

市が指定した避難場所（4ページ参照）までの経路について家族で話し合い、確認しておきましょう。しかし、河川の水があふれているときなどは、避難場所に安全に避難できない場合があります。自宅や職場の近くに、一時的に避難できる場所を決めておくことも必要です。

### 非常持出品の準備・点検は？

いざというときのために、非常持出品を用意しておきましょう。非常持出品として準備する乾パン・缶詰・栄養補助食品などの非常食や飲料水（いづれも3日分を目安）、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、衣類、救急医薬品、現金などは日ごろから準備・点検しておきましょう。



## 被害を最小限に抑えるために

### 気象情報などは最新情報を把握する

台風や大雨などのときに発表される注意報や警報は、各地域の住民の皆さんに注意を呼びかけ、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。注意報は災害が起こるおそれがあるとき、警報は重大な災害が起こるおそれがあるときに、それぞれ発表されます。台風や梅雨前線の動きなどについては、テレビやラジオなどで伝えられる気象情報や注意報・警報などで最新の情報を得るようにしましょう。なお、市や県では主に次の方法で市民の皆さんに情報を提供します。

- 防災行政無線による放送
  - 熊本県防災情報メールサービス（下記参照）
  - 熊本県統合型防災情報システムホームページ
- http://www.bousai.pref.kumamoto.jp

### 天草ケーブルテレビの市民チャンネルによる災害情報の放送（同テレビ加入世帯のみ）

### 早めの避難と高齢者などへの協力

警報や避難の勧告・指示が出された場合、または勧告などがなくても長雨や大雨などで身の危険を感じたときは、事前に決めている避難場所へ速やかに避難してください。

また、高齢者や障がい者、子どもなど災害時にすばやい行動をとることが困難な人たちが家庭や隣近所にいるときは、家族や周りの人たちが協力して災害から守りましょう。

そのためには、日ごろから家族や地域で防災について話し合っておくことが大切です。

※詳しいことは、本庁・防災交通課防災消防係 ☎111 11内線1231へお尋ねください。

## 熊本県防災情報メールサービスに登録しましょう



県内の防災情報などをメールで受け取ることができ、最新の気象情報などが即時に配信されます。また、受信する情報は自由に選択ができます。なお、このサービスを受けるためには、あらかじめ登録が必要です。

- 登録方法
- 下記のホームページにアクセスし、案内に従い登録をしてください。
- http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/
- 配信する情報
- 気象警報、注意報 ● 土砂災害警戒情報
  - 竜巻注意情報 ● 地震情報 ● 津波情報
  - 火山噴火情報 ● 河川水位情報

## 「土砂災害警戒情報」を防災行政無線でお知らせします

熊本地方気象台と熊本県では、大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まったときに、住民の自主避難などの参考になるよう『土砂災害警戒情報』が発表されます。

市では、『土砂災害警戒情報』が発表されたときに、市民の皆さんにいち早く情報をお伝えするため、深夜・昼夜を問わず、防災行政無線でお知らせすることとしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、『土砂災害警戒情報』は、市内10地域を「東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）」と「西部（牛深・天草・河浦）」に分けて発表されますが、防災行政無線でのお知らせは、危険性が高まっている地域のみに行います。

